

平成27年度 市野与進保育園事業報告

平成27年度 4月当初定員140人でスタートをいたしました。3月には、150人で27年度は終えることができました。

市野与進保育園での運営状況として

① 保育士確保のむずかしさ

保育士不足と産前休暇を取るものが2名おりましたので、ハローワークに求人申し込みをいたしました。人材を確保することができず、人材派遣会社に依頼し保育士確保に努めました。しかし 今まで働いていないといった状況の人材だったため体力的に持たず1ヶ月も立たずに退職をしてしまいました。

② 中堅層が退職していく理由を考えてみる……結婚・出産をしても働きやすい職場の構築が必要と考えました。

③ 収入支出の面での公定価格の内容が園長自身に見えていないため、もう少し勉強が必要ではないかと考えました。

④ 幼保連携型「認定こども園」へ移行するにあたって、「法律が変わったこと」と「こども園」への事務処理で運営面での準備が考えた以上に大変であったこと

⑤ 第2回目第3者評価を1月に受審をいたしました。

保育士の質の向上として

法人研修(キャリアアップ)として

リーダー研修会はリーダー的存在の職員を集め、浜北森林公園「森の家」一泊研修を実施

研修を受けた職員の中堅キャリアデザインとセルフマネジメントをどのように発揮してくれるか期待をしていきたいと考えております。

園内職員研修……園内研修として テーマ「一人ひとりを大切に。子どもの今を大切に。」エピソードを大切にしながら、子どもの育ちの検証を行いました

園が主催の職員研修……27年度後半に実務研修として消防署による応急救護法・児童虐待研修・苦情解決研修・感染症対策などの研修は新規採用予定者も含め、2か年計画通り実施しました。

保育の内容

当園の一番大切にしていきたい課題は子どもの発達課題と教育にどう取り組むかだと考えております

「明日につながる振り返り」……4月から正規・非常勤職員ともに子どもの保育に係ることは記録に書き、研修を受けることにしましたので、正規・非常勤職員関係なく子どもをしっかり見つめる状況ができ始めてきたと考えています。今後 重点課題の一つにつながっていくと考えます。

保育の内容を保護者に伝える「保護者に1分間コミュニケーション」の実践を行ってきました。

地域貢献として

子育て支援……親子ひろばの支援メニュー充実として

① 助産師による相談会(妊婦懇談会)……

実施いたしましたが、参加人数が増えず後半はテーマを考え、利用する人にわかりやすく計画を立てましたが、盛り上がりが少なく再計画の必要があります。

② ベビーマッサージの開催……「ふれあいから始まる親子の絆」をテーマに実施

ベビーマッサージに関しては、出産直後・子育て中の母親・子どもとの関わりで悩んでいる母親から問い合わせがあります。しかし 実施する担当者が経験不足のため、もう少し力を入れていきたいと考えています。

小学校との連携

① 卒園児が通う小学校の授業参観や懇談会等に参加をするとともに、近隣の小学校、幼稚園児の交流会を行いました。また児童館交流として近隣の小学校の児童たちと夏休みを利用し夏にしかできない交流を行ってきました。

| 法人の基本方針 | 概 要 | 内 容 | 報 告 |
|------------------------------|--|--|---|
| <p>① 保育指針に沿った保育の実践</p> | <p>・保育指針を十分に理解し、保育指針に沿った担当業務の在り方を把握したうえで、実践し、振り返りを行う。(目標による管理)</p> <p>・子どもの育ちを支える保育</p> <p>・子どもの安全を守るためにリスクマネジャーを養成し、リスクマネジャーから各職員への教育を徹底する。</p> | <p>★情緒の安定と5感を大切にしながら「挑戦する意欲」、体験する楽しさを育てる。</p> <p>4歳5歳の保育テーマ「何にでも挑戦する子を育てる」</p> <p>・できないことへの挑戦</p> <p>・人としての基本的マナーを身につける(あいさつ・履物を揃える・自分の持ち物の整理整頓など)</p> <p>★遊びを通して「人と関わる力・学ぶ力」を育てる。</p> <p>・思いやり・やさしさを育てる</p> <p>・見る→意欲(やってみよう)→真似る→学ぶ</p> <p>★保育士主導の「させる保育」から子ども自ら「やってみよう保育」へ</p> <p>★保育の質の向上を目指して</p> <p>・保育士は一人ひとりの関わりを大切にしながら、保育士の思いと子どもの思いを絡み合わせ、「明日につながる振り返り」を行う。</p> <p>園内研修テーマ エピソード研修 「一人ひとりを大切に。子どもの今を大切に。」 給食・・・「子供たちとクッキングを楽しもう」</p> <p>★保育(生きる力の基礎づくり)</p> <p>① 人としての育ち、保育園での教育の在り方をしっかりと認識しながら「生きる力」の基礎を育てる</p> <p>・人との関わり・・・</p> <p>・自分の思いを言葉にする</p> <p>・集団生活や遊びのルールを守る</p> <p>・相手を思う気持ちを育てる</p> <p>・基本的生活習慣の確立</p> <p>② 情緒の安定や大人との信頼関係を図りながら、日々心安らかに安心して生活を送る。</p> <p>★「食育」</p> <p>季節の食べ物を知り、畑で採れた食材で料理する楽しさを知る。食文化の伝承</p> <p>異世代交流を通して地域人たちとのつながりを大切にする。</p> <p>★リスクマネジャーを中心とした組織づくり、職員の意識向上</p> <p>・ヒヤリハットの見直し書面記入の簡素化を図り、周知しやすい方法に変更</p> | <p>・正規・非常勤にこだわりなく、園内研修を通し、子どもたちの保育を充実させていくことを個々の記録を取りながら保育の向上をはかった。</p> <p>(子どもの気持ちを受け止めることの大切さを葛藤しながら努力している。)</p> <p>しかし 言葉では簡単に思えることだが、非常に難しく、受け止めている「つもり」になっていることが多い</p> |
| <p>② 国、市の方針、環境変化に応じた園の経営</p> | <p>・国の「子ども・子育て新システム」、市の保育政策等への適合をはかる。</p> <p>2016年度認定子ども園となることを前提にして、その準備をする。</p> <p>・保育所担当行政をはじめ関係機関との連携を深める。</p> <p>・地域にある福祉ニーズを探り、法人として地域社会に貢献をする</p> | <p>★幼保連携型「認定こども園」に向け準備を進めるとともに、全職員に情報の提供と勉強会を実施。</p> <p>★浜松市における認定こども園に向けての情報収集と計画づくり。</p> <p>① 免許更新に向けての準備計画・保護者説明会の実施</p> <p>★民間園長会を通して認定こども園の情報提供をうける。</p> <p>★地域のボランティア活動を保育の中に取り入れ、育成につとめる。</p> <p>地域ボランティア、中高生の保育体験、実習生の育成と地域ボランティアの活用</p> <p>★民生児童委員と連携をとり、ながかみ地区子育て協議会に参加する。</p> | <p>・認定こども園に向けて、浜松市に申請したところ、決定を受けることができた。</p> |

| 法人の基本方針 | 概 要 | 内 容 | 報 告 |
|-------------------------|--|---|--|
| <p>③ 保護者への積極的な子育て支援</p> | <p>・保護者への支援、保護者との連携を強化する。 ・地域への子育て支援メニューを充実する</p> <p>・保護者も保育に参加し体験することにより、保育園への理解と保育内容の理解を深める。</p> | <p>★魅力ある保育園づくり 地域の子ども・子育て支援の充実 親子ひろば・タッキークラブ</p> <p>① 待機児を持つ保護者及び将来保育園に預けたい保護者に情報提供 サークルを立ち上げ保護者の悩みの共有・支援</p> <p>② 親子ひろばの支援メニュー充実に向けてプログラムを作成 ・親子ひろばのプログラム ➤ 手作り離乳食とおやつ ➤ 妊婦懇談会・・・妊娠中の職員・助産師が対応 ➤ ベビーマッサージの開催 ➤ 子育て中の親と職員の交流会 ➤ 園庭解放・保育参加の呼びかけ ・保育参加を通して、子どもが何を体験し、大人のかかわりでどのような成長をするのかを感じてもらう ・保育者の子どもとの関わり方や遊びの様子を見て、家庭での子育ての参考にしてもらう</p> <p>③ 親育ちを考える。 保育園の持っている専門性を利用した子育て 保護者講演会・・・「子どもとメディア」 実施</p> <p>★保育内容が見える保育園 ・「伝えよう保育内容」 5W1Hを使って、保育のプロセスを伝える。園での子どもの姿を伝える。 ・保育参加を通して、子どもが何を体験し、大人のかかわりでどのような成長をするのかを感じてもらう</p> <p>① 社会情勢・利用者状況に合わせた保育園運営</p> <p>★地域に保育園保育の情報発信をする</p> <p>① 子育てボランティアの活用 ・親子広場での育児相談</p> | <p>・地域の園として始めたタッキークラブは、利用者も増え、保育園見学も合わせると毎回10人ぐらい参加がある。また 参加者の中には、情報を得る手段がわからず、どう行動を起こしたらよいかわからなかったが、この園に来てよかったといってもらえるようになった。 妊婦相談会では参加者が少なく、参加しやすい状況を作っていく必要がある。 支援センターでも助産師による妊婦支援に来園する妊産婦が少ないという情報を聞いているので、自園だけではないことが分かった。 ・10月からベビーマッサージの実施を始めるが、指導する者も経験が浅いため 手さぐり状態であった。</p> |
| <p>④ 保育環境の整備</p> | <p>・子どもたちの安全と衛生的な環境を確保する。</p> <p>・修繕や備品の購入は年次を追って計画的に進める。</p> | <p>★非常災害時に向けての防災機器の充実</p> <p>① 非常災害時には地域の避難所になり得るように備品等の充実を図る。</p> <p>② 地区の総合防災訓練などに積極的に参加し、地区の人々に保育園の認知・職員の顔を覚えてもらう。</p> <p>③ 非常災害時に対するの行動マニュアルの周知徹底</p> <p>④ 職員の虐待研修</p> <p>⑤ 自己チェック・・・ヒヤリハット研修 保育士の書きものの軽減とヒヤリハットの効率のアップ</p> <p>⑥ 乳幼児救急法研修、感染症研修</p> <p>⑦ 1歳児の担当人数を6:1から5:1の対応する</p> <p>★職員の危機管理研修</p> <p>①リスクマネジャーの育成と組織づくり</p> <p>★第三者評価を受ける</p> <p>★定員増・公定価格による収入・支出のバランスを考えながら、健全な保育園運営を行う</p> <p>① 給食室の整備</p> <p>② テラスにオーニングの取り付け(日よけ)</p> | <p>地域の防災訓練に積極的に参加をし、防災に力を入れる。 そこで消防署の指導されるAEDの取り扱い講習に参加</p> <p>・一月に第三者評価をうけ、運営・保育等の見直しをし、平成28年度の課題としたい。 ・給食室職員の動線を考えた整備を予算化をしたが、施設整備の申し込みを行ったことで、延期をする。</p> |

| 法人の基本方針 | 概 要 | 内 容 | 報 告 |
|--------------------------|--|--|--|
| <p>⑤ 働きやすい環境づくり、職員育成</p> | <p>・倫理性、組織性、専門性を持つ職員の育成を行う。</p> <p>・新たな研修計画の策定。パート職員も含めたOJTの強化、プリセプター方式による新人研修</p> <p>・積極的な新規採用活動の実施</p> | <p>★最低基準に合った人事配置</p> <p>★「選ばれる保育園」をめざした人材育成をする</p> <p>① 正規職員・パート職員が自己発揮できる職場づくり</p> <p>② 園内研修の充実</p> <p>③ 1歳児の担当人数を6:1から5:1の対応をする</p> <p>④ OJT・プリセクター</p> <p>⑤ 経験年数・年長者による新人教育(職務内容の指導・職務に対する姿勢とアドバイス)</p> <p>⑥ 職務の記録の取り方「1日の保育の振りかえり」正規保育士・非常勤保育士とも実施</p> <p>⑦ 保育士・非常勤保育士としての技術、実技を学ぶ</p> <p>★自己評価体制づくり</p> <p>① 自己評価の研修参加</p> <p>② 保育の自己評価をする 個人目標(自己研鑽目標)の設定・・・自己評価</p> <p>★職歴、経験年数に応じた職員研修</p> <p>① 園外研修参加</p> <p>② 新規採用研修 ・・・新規採用者と1・2年目保育士実務研修</p> | <p>・浜松市の代替え保育士の人数に変更があり、</p> <p>・園独自で1歳児の担当人数を5対1と考え、クラス運営を行ってきた。</p> <p>・市野与進保育園では昨年度から中堅クラスの職員の退職が増え、子育てをしながら勤務ができる体制を整える必要があることが課題として見えてきた。</p> |
| <p>⑥ 経営の把握と無駄の排除</p> | <p>・経営状況の適切な把握と中長期事業計画の策定。(人員と設備備品の予算根拠の明確化とその実行管理)</p> <p>・管理部門は常に現在の経営状況を把握し、随時職員にも伝える。</p> <p>・適正な経営を確保するために、無駄を排除する。</p> <p>・両園の建物、設備の再生産のための費用の算出とその積立計画を検討する</p> | <p>★中長期計画の策定をする。 職員全員で考え策定する</p> <p>★定員増による収入と支出のバランスを考える</p> <p>★責任者は職員に運営状況を丁寧に説明する</p> | <p>・主任保育士が中心となり作成をしたが、資金的な面ではっきりと結論が出ない部分もあり園内容にとどまっている。</p> <p>・保護者からのアンケートで、子どもの人数から言って手狭になっていることを指摘されているので、できれば増築をしたい。</p> |
| <p>⑦ タイムリーな情報発信</p> | <p>・常に利用者、地域社会に情報を発信する(ホームページ、お便り、その他)</p> <p>・日頃の実践発表を保護者に伝える機会を持ち、保護者とともに保育を進める。保護者向けの発表会やホームページ上にブログによる情報発信等。</p> <p>・職員の末端に至るまで、必要な情報はタイムリーに正しく流す(月次決算、重要決定事項)</p> | <p>★魅力ある保育園づくり</p> <p>① 保育園の特色を出す保育</p> <p>★地域・利用者に向けた保育内容が見える保育園</p> <p>① 保育のプロセスを伝える 園の考えや保育者の思いを伝える 保育の様子をよりイメージしやすく伝える ・ボード・ホームページ・クラス便り・行事・保育の取り組み発表・園内掲示、</p> <p>② パート職員も含めて保育の記録の取り方 エピソード記録に基づいて子どもの遊びのひとコマを保護者に伝える。(発達過程の中で子どもがどのようなことを経験し、保育者がそれをどう働きかけ、子どもがどのように成長していくか)</p> <p>③ 保護者・親子ひろばの保育参加を実施 保育者の子どもの関わり方や遊びの様子を見て、家庭での子育ての参考にしてもらう</p> <p>★責任者は運営状況をHPや閲覧しやすいようにする。</p> | <p>・保育の見える化に力を入れ、保護者との1分間コミュニケーションの提唱しているが、保護者によっては担任とうまくコミュニケーションがうまくとれずにいる職員もいる。</p> |

| 法人の基本方針 | 概 要 | 内 容 | 報 告 |
|----------------|--|--|---|
| ⑧ 環境を守る取り組み | <p>・保育の中にも職員の行動にも環境問題を考えた対応をする。</p> <p>ものを大切に使う。</p> <p>動植物を大切に使う。</p> | <p>★社会状況・経営状況を1人ひとり把握し、職員全員ができることから始める</p> <p>① 節電対策</p> <p>・ゴウヤときゅうりのグリーンカーテンの設置</p> <p>収穫物は子どもたちとお店やごっこをすることで簡単な金銭感覚を育てる。</p> <p>② ゴミの省力化</p> <p>職員・3歳以上児に「自分のポケットにハンカチを」運動実施</p> <p>③ 園児たちに資源の大切さを知らせる</p> <p>④ 水の出し出っ放し・漏水等の確認</p> | <p>・グリーンカーテンを園児とともに実施したが、天候不順のため、野菜がうまくできなかった。</p> <p>・雨水の有効利用を開園時から考え、地元の自治会の会長等に相談をしていたところ、今年になり浜松環境ネットワークから連絡が入り、100号の500ℓのタメタル君の寄贈があった。</p> <p>園児とともに畑の水やりに使っている。</p> |
| ⑨ 新しい地域貢献活動の実践 | <p>「経営協きずな基金」に参加する。</p> <p>保育に関する地域貢献活動に参加する方策検討する。</p> | <p>★地域活動支援強化</p> <p>① 一時預かり事業の強化</p> <p>母子家庭・父子家庭の預かり保育</p> <p>養育者の精神障害による子育て不安の支援</p> <p>② 待機児童を持つ保護者支援・・・タッキークラブ</p> <p>③ 地域防災訓練に参加・・・地域に参加のため 9月</p> <p>④ 地域ボランティアの活用</p> <p>⑤ 保育園行事への参加呼びかけ</p> <p>流しソーマン・夏祭り・学童交流</p> | <p>・第一次入園決定後の一時預かり問い合わせが多く、1年間の預かりを希望する人が多い。一時預かりを利用すると入園がスムーズに育と考えている親が多いことに驚いている。</p> <p>・地域の子育て支援として、妊産婦教室の開設と10月からベビーマッサージ開設を行ったが、妊産婦の利用者が意外と少なかった。</p> |

※平成27年度（平成27年4月～平成28年3月まで）の苦情はありませんでした。

※危機管理として重大な事故はありませんでした。